

白河市文化芸術推進審議会第2回会議 会議録

- 日 時 平成31年2月21日（木）14：00～15：43
- 場 所 市役所本庁舎 全員協議会室
- 出席者 志賀野委員、久保田委員、浅川委員、小林委員、本宮委員、
中上委員、堀内委員、青砥委員、須藤委員（委員9名）
藤田公室長、邊見課長、加藤係長、鈴木主査、根本主査
- 欠席者 山本委員
- 傍聴者 1名
- 配布資料 次第
 - 資料1 白河市文化芸術推進基本計画 平成29年度実績に対する意見
 - 資料2 平成30年度白河市ふるさと文化振興基金への寄附状況について
 - 資料3 平成30年度白河市文化振興補助事業の状況について
 - 参考1 白河市文化芸術推進審議会 委員名簿
 - 参考2 白河市文化芸術推進審議会 会議座席表
- 内 容
 - 1 開 会 14：00
 - 2 あいさつ
(白河市文化芸術推進審議会会長よりあいさつ)
(白河市長公室長よりあいさつ)
 - 3 議 事
 - (1) 協議第1号 白河市文化芸術推進基本計画における平成29年度実績に対する意見について
(事務局から資料1作成までの流れの説明)

委員からの主な意見等
(市民歌について)

 - ・市民歌を市内でも流してはどうか。

(郷土学習について)

- ・子どもへの郷土学習は図られているが、親世代は集古苑や歴史民俗資料館、公民館等に足を運ぶことは少ない。親世代にも白河のことを知ってほしい。
- ・市内小中学校に呼びかけてはどうか。

(文化芸術事業について)

- ・スペースオペラ KEGON と薪能は前衛的であった。第一線でこれから力を伸ばしていくアーティストが白河に来て、白河を題材にいい作品を発表することは素晴らしい。こういった全国に発信できる新たな文化芸術プログラムを、このまちで年に一度でもやり続けることで、このまちで活躍したい若い世代が市外から集まる可能性が開けると思う。事業を見て集まる人材のためにも、これからも続けてほしい。
- ・子ども達にいいものを見せて、マナーを学ばせてほしい。
- ・コミネスの大ホールで市民芸能大会が開催されることは嬉しい。ホールに相応しい舞台となるよう練習するなど出演者の励みになっている。

(アウトリーチについて)

- ・小中学生に光を当てられたらいいと思う。
- ・集客につながっていないように思う。もっと周知してはどうか。
- ・コミネス主催の場合、コミネス通信は一部の人しか見ない。
- ・仙台フィルのアウトリーチへの参加者が多く、驚いた。今後も、子どもが興味を持つものを実施してほしい。

(コミネスについて)

- ・コミネスに足を運んでおり、満足している。子どもたちも喜んでいる。
- ・コミネスのおかげで誇れる白河となった。30年度には、本市で第九を演奏できて感激した。

(コミネス利用料金について)

- ・利用料金が高いため、別の場所を使っている。市文化団体連合会加盟団体への減免措置があるといい。
⇒コミネスの利用料金は近隣の類似施設を参考に規定した。現在は、市内の学校等や学校等が組織する団体が発表会等で利用する場合のみ減免している。今後も備品のセット料金など検討していく。
- ・利用者は演奏会と発表会を一緒に考えているのではないか。発表会の場合は複数の団体で利用してはどうか。また、減免するということは、代わりに誰かが負担する

ことになる。

- ・コミネスの利用料金は他県に比べて高くはないと思う。しかし、いいものを提供しようとするほど料金がかさむため、市民への減免措置があるといい。

(コミカルクラブについて)

- ・コミネスの事業以外でも手伝いを頼めるといい。

(東文化センターについて)

- ・東文化センターの職員は温泉館との兼務であり、施設管理のみで限られたことしかできない。コミネスで東文化センターの事業についても考えてもらえたら、素晴らしい事業ができると思う。
- ・以前のように、東文化センターで映画を上映する機会が増えるといい。

(図書館について)

- ・埴町は移動図書館を実施しており、幅広く活用されている。矢祭町は児童の詩や作文などを作品集にまとめている。
- ・りぶらんでは子ども向けと大人向けの映画上映会を開催している。子ども向けは、30年度には、長ぐつをはいた猫、日本昔話、銀河鉄道の夜、星の王子さまなどを上映しており素晴らしい。
- ・コミネスとりぶらんの連携はできるいる。りぶらんは公民館のような役割も果たしている。

(市民オーケストラについて)

- ・市民オケを設立する場合は、若い人が参加できるものと一定レベルの方のものを、分けて考えることが大事だと思う。
- ・市民オケの設立は夢だったため期待している。
- ・市が関わってオケを立ち上げる事例は多くはない。

(姉妹都市や友好都市との交流について)

- ・一般市民が交流できる事業もあるとよい。

(まちづくりについて)

- ・イベントが多すぎると思う。
- ・コミネスやりぶらんには人の流れがあるが、まちなかにはないように思う。古い蔵があっても、七日町通りのように群れでないため、活かされていない。住んでいる人が興味を持つようにPRしてほしい。

(その他)

- ・若手芸術家への支援としては、積極的な出演依頼や奨学金制度の設立を検討してはどうか。
- ・公演等何か行いたい場合に、頼めるスタッフや専門的な人がいる場所があるといい。
- ・エマノンサロンとも言える。アウトリーチで講演やコンサートを行うこともある。コミネスとエマノンがあるからこそできることが増えた。エマノンであれば、高校生が出演者と気軽に話したりすることができる。
- ・今月と来月に脇本陣で映画を上映する。市条例や消防法の規制はあるが、文化芸術に関しては利用時間の延長を認めるなどの措置がほしい。補助金を出すだけが支援ではない。いろいろな場所でいろいろなことができるとよい。
- ・最近特に、市民の文化芸術への関心が高まっていると感じる。
- ・人材作り、職員含め人材ストックは事業の積み重ねでできていく。
- ・計画推進には市・市民・団体・学校・事業者の連携が大切。

4 その他

- (1) 平成30年度ふるさと文化振興基金への寄附状況について
- (2) 平成30年度白河市文化振興補助事業の状況について

5 閉会 15:43